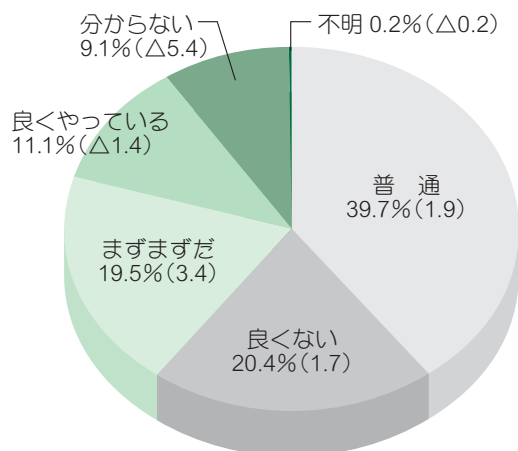


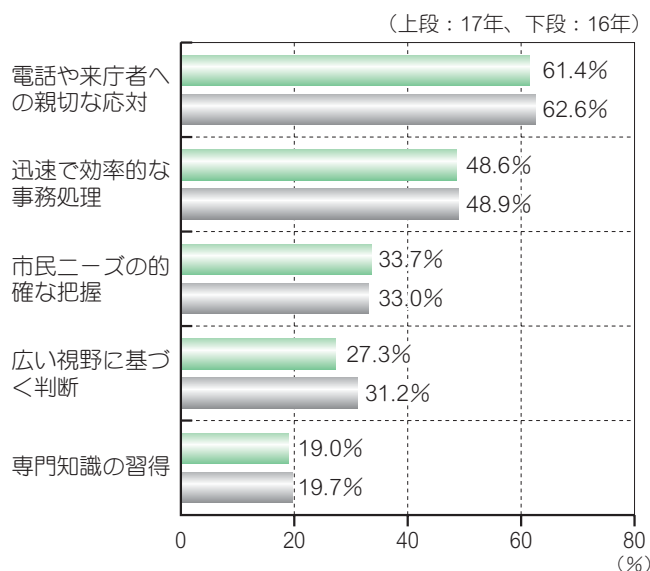
## 市職員について

○市職員の日ごろの仕事ぶりをどう感じていますか。  
( )の数字は前年比



市職員の仕事に対して、「良くやっています」「まずまずだ」の肯定的評価が2.0ポイント増えています。「良くない」も1.7ポイント増えています。職員はこの評価をしっかりと受け止め、公務に対する一層の努力が求められています。

○市職員が市民に親しまれ、信頼されるにはどのような点に心掛けるべきですか。(複数回答2つまで)

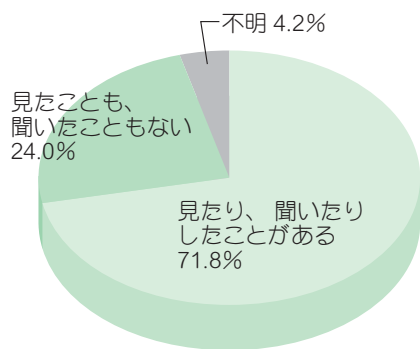


順位は前年と同じです。「電話や来庁者への親切な対応」が最も多く、引き続き職員の接遇の向上が求められています。

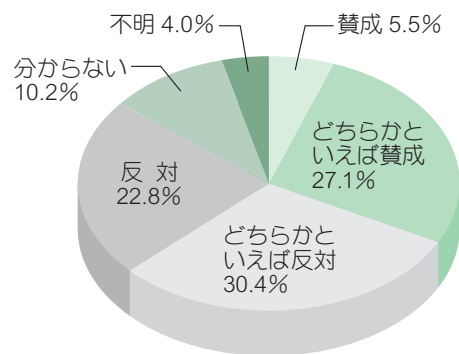
上位5項目の中では「市民ニーズの的確な把握」が前年に引き続き増加しています。

## 男女共同参画社会について

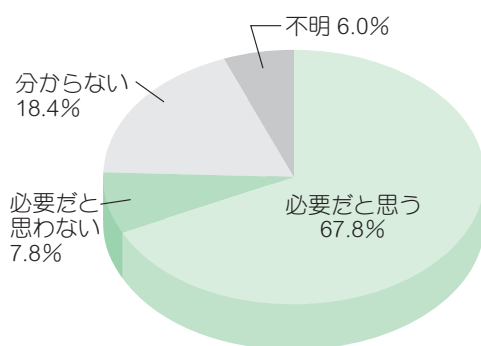
○「男女共同参画」または「男女共同参画社会」と言う言葉を、見たり聞いたりしたことがありますか？



○「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか？



○男女共同参画社会の実現は必要だと思いますか？



男女共同参画社会基本法が施行されて7年目となり、7割以上の人に『男女共同参画(社会)』という言葉が浸透しています。

「男は仕事、女は家庭」という考え方については、賛成派が32.6%、反対派が53.2%と反対派が過半数を超えています。14年度の調査結果(賛成派45.6%、反対派43.2%)と逆転しており、「男は仕事、女は家庭」にこだわらない考えの人が増えてきています。

「男女共同参画社会の実現が必要だと思う」と答えた人が、「必要だと思わない」と答えた人の割合を大きく引き離している現状からも、男女が一人ひとりの生き方を認め合い、共に歩む男女共同参画社会の実現が求められています。